

【No.17 関西医療・ヘルスケア産業DXビジネス推進コミュニティ】

● **活動地域** 関西圏（大阪府、京都府、兵庫県の3府県中心に福井県、滋賀県、奈良県、和歌山県を含む関西全域）

● 【地域DX推進コミュニティの名称】の特徴

■ 特徴① 多様な機関の連携による医療・ヘルスケアDXコミュニティの形成

■ 特徴② 医療機器・ヘルスケアからベンチャー、再生医療まで

■ 特徴③ DXによる製品・サービスの高度化の実現

設立の背景・主な構成員

● **地域DX推進コミュニティ設立の背景・きっかけ**

医療・ヘルスケア分野のDXにあたっては、デジタル技術のみならず、医療・ヘルスケア分野の知識やネットワークも同時に求められており、企業単独での開発や普及は難しい。こうした課題を解決するため、医療・ヘルスケア分野やデジタル分野などに強みを持つ多様な機関との有機的な連携によって地域企業のDXを強力に推進するコミュニティを設立。

● **代表機関**：大阪商工会議所

本コミュニティの中核組織。関西における医療・ヘルスケア産業に携わる地域企業のDX化全般を推進。医療機器等の分野では自らが地域企業および医療現場のDX促進に向けた事業化を支援。

● **構成員**：

- ・株式会社産学連携研究所：主にライフサイエンスベンチャーの支援
- ・公益財団法人新産業創造研究機構：主に再生医療分野の企業支援
ほか 11機関

● **キーパーソン**

➢ 代表機関名：大阪商工会議所



- 松山 裕（産業部ライフサイエンス振興担当課長）
【総括事業代表者（プロジェクトリーダー）：
10年以上に亘り、医療機器分野の産学医の
マッチングや事業化支援に従事】

● **問い合わせ先**

大阪商工会議所 産業部ライフサイエンス振興担当
TEL：06-6944-6484 E-mail:bio@osaka.cci.or.jp

支援活動の内容

① **地域企業のDX推進に向けた課題分析・戦略策定の伴走型支援**

デジタル技術に造詣が深いアドバイザーや支援機関が中心となり、主に地域企業の経営層をターゲットとして、経営全体を見据えた課題分析、戦略策定等を伴走支援。合計30社程度、1企業当たり概ね8回程度を想定。

② **地域企業とソリューション提供事業者（ITベンダー等）とのマッチング**

地域企業の関心が高い、デジタル医療機器開発に関する医療機関とのマッチング、オンラインシステム活用によるソリューション提供事業者とのマッチング、再生医療分野における業界関係者や業界関連機関とのマッチングをそれぞれ支援。合計30社程度。

③ **その他、地域企業のDX推進に向けた支援活動**

医療・ヘルスケア分野、ライフサイエンスベンチャー、再生医療分野におけるDX関連のマッチングイベントやDX推進に必要なサイバーセキュリティ対策に関するセミナー等のイベントを開催。

➢ 構成員



株式会社産学連携研究所

- 隅田 剣生（代表取締役）
【副総括事業代表者（サブリーダー）：
多数の大学発ベンチャー・産学連携プロジェクトの組成、マネジメント業務に従事】

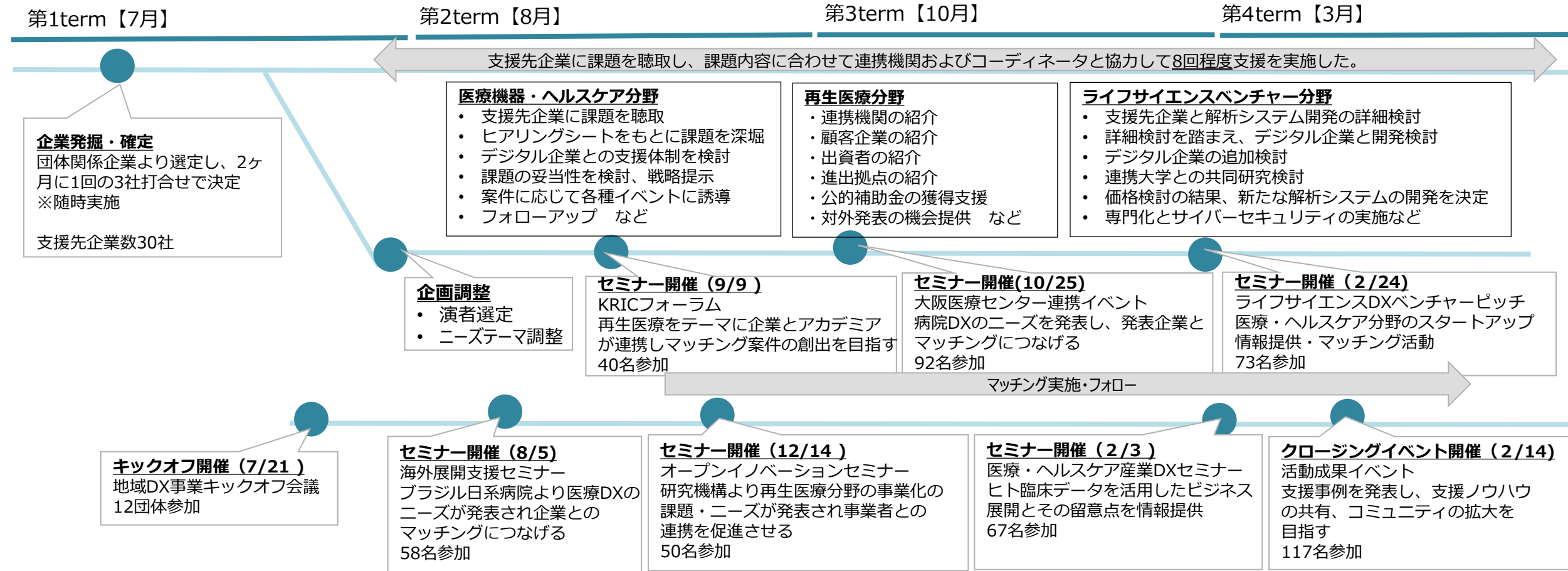


公益財団法人新産業創造研究機構

- 西野 公祥（技術移転部門健康・医療部 研究開発
コーディネータ）
【副総括事業代表者（サブリーダー）：
多数の大学発ベンチャー・産学連携プロジェクトの組成、マネジメント業務に従事】

【No.17 関西医療・ヘルスケア産業DXビジネス推進コミュニティ】

支援スケジュール（令和4年度実績）



・事業実績：支援を実施した企業数（①課題分析・戦略策定、②課題分析・戦略策定・ベンダーとのマッチングの内訳）、実績結果への所感等

30社支援の内、①課題分析・戦略策定は30社、②課題分析・戦略策定・ベンダーとのマッチングは14社。支援先全企業について、課題分析ないし戦略策定が実現でき大きな成果となった。

・波及効果について：

DXの推進を成しえた企業の事例を関西発のロールモデルとして活動成果セミナーを実施し、関西全体の医療・ヘルスケア分野のDX促進の加速化の波及効果を生み出した。大阪医療センターでは企業と連携し医療DXを推進するにあたって、他の病院への展開を準備している。また、地域企業のDX推進に向けた課題分析・戦略策定の伴走型支援の取組を地域DX推進コミュニティ外の企業に提案したところ、連携して取り組みたいと申し出があり、複数社連携によるプロジェクト立ち上げが進んだケースがあった。また、セミナーの開催を契機に、地域DX推進コミュニティ、支援先企業と大手製薬会社、大手コンサルティング会社とのネットワークができ、他地域への展開を準備している。

・自走化への道筋：受益者負担の考え方、構成員への会費負担の引き上げ、広報活動の強化等

無料で実施していたデジタル関連の各種イベントで参加費を得るまた、マッチングによる成果報酬も加味することで自走化を目指す。

【No.17 関西医療・ヘルスケア産業DXビジネス推進コミュニティ】

支援好事例（令和4年度実績）

支援先企業名：株式会社木幡計器製作所

● 支援先企業の概要：

- ・業種：ポンプ・圧縮機器製造業
- ・資本金：2,500万円
- ・従業員数：16人
- ・主要製商品／サービス：圧力計, IoT/DX関連機器、呼吸機能測定器等の医療機器の製造・販売

● 支援先企業が抱える課題：

令和3年度地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域産業デジタル化支援事業）で「可搬式医療ガスポンベの使用残時間の可視化と残量アラートのIOT化」をテーマに、医療ガスポンベの使用残時間を自動計算できるシステムの開発と、それを表示させ危険な状態を知らせるアラートを報知する機器の試作機作成と実証化を行った。実証先の病院で酸素ポンベの残量を正確に計測できることを確認したが、IoT化については、技術的には可能であるが、病院内に新たな通信インフラを構築する必要があり実現には至らなかった。インフラの構築については専門家の支援が必要であり、本コミュニティにはIoT化、デジタル分野に強みを持つ企業や医療機関が入っていたことから支援を依頼された。

● 支援内容：

医療機器・ヘルスケア分野の支援機関である大阪商工会議所のコーディネータが支援先企業と面談し、通信インフラを構築するにあたり企業が抱える課題や会社のDX戦略を聴取した。ヒアリング内容に基づき、構成員のうち通信インフラ面における課題解決に強みを持つITベンダーBIPROGY(株)による支援を決定。大阪商工会議所とBIPROGY(株)が支援先企業の経営層との信頼関係を構築しながら課題分析-戦略提示-フォローアップの支援を実施した。BIPROGY(株)は支援先企業から提出されたヒアリングシートをもとに1回目の面談で課題を明確化。2回目の面談ではBIPROGY(株)より支援先企業に課題の解決案として、病院規模に応じたネットワークの連携方法として、直接院内システムに接続するまたはサーバーの設置の2パターン示され、意見交換を実施した結果、製品の導入対象となる医療機関の規模（中大規模）よりサーバー設置による連携方法に決定。3回目の面談でBIPROGY(株)より支援先企業に病院導入に向けての戦略が提示された。中大規模病院における連携方法としてはコンテナ化またクラウドの導入が推奨がされ、病院毎の専用ソフトが不要になるため支援企業元のコストが抑えられることや、病院側のコスト受容度に応じた対応方法など今後の方策を検討できる戦略がBIPROGY(株)より提案された。更に大阪商工会議所より本システムの新興国における海外展開支援やコミュニティ機関である大阪医療センターでの活用を検討いただく個別面談のセッティングなど企業へのフォローアップを実施した。

● 支援成果：

提案された戦略より、インフラ構築をどのように進めていくべきかの方向性を見出すことができ、関係企業とインフラ構築に向けた協議を進めている。BIPROGY(株)からの専門的な支援を通じて、関係企業と対等にディスカッションができるようになった。また、海外展開ではブラジル日系病院とのマッチング面談で今回支援を受けた製品を紹介し、医療機関よりフィードバックを受け、今後の海外展開の課題が明確となった。構成員である大阪医療センターとのマッチングでは臨床工学技士が本システムへ関心を持ったため病院での実装への検討が進んでいる。

● 支援成功のポイント：

大阪商工会議所による医療機器そのものを事業化する視点の支援とBIPROGY(株)によるITコンサルティングの支援を連携して実施することで、機器およびシステムのDXにおける課題分析・戦略策定及び事業化支援を相乗効果的に行うことができた。